

令和3年度第2回三重県商工会議所連合会通常会員総会を開催

令和4年2月22日(火)

～令和4年度事業計画・収支予算を承認～

三重県商工会議所連合会（会長：種橋潤治）は、令和4年2月22日（火）都ホテル四日市にて、県内12商工会議所の会頭・専務理事の出席のもと「令和3年度第2回通常会員総会」を開催し、令和4年度事業計画および収支予算について審議し、満場一致で原案どおり承認されました。



種橋会長は、挨拶の中で、『まん延防止等重点措置』要請に際し、『取れるべき措置は期間を集中して思い切って打ち出す、区域指定は生活圏の一体性に留意すること、地域経済への影響を最小限に留めるために飲食店はもとより、幅広い分野の事業者への支援と協力金の迅速な支給、着実なワクチン接種の推進』について強く要望したと述べ、さらに、今後の中小・小規模事業者に対しては、事業継続の支援とともに、新型コロナが一定落ち着いた状況

で、飲食や観光関連事業者等の売上の確保・向上に向けた思い切った需要喚起策が必要である。一方、ポストコロナを見据え、中小企業



のデジタル化による生産性の向上や事業再構築等の推進、さらに、社会経済にとって大きな転換となる2050年カーボンニュートラルの実現について、「ものづくり産業」、「石油化学系産業」にとって、産業構造の変革が求められるなどの影響が想定され、こうした動きを将来に向けたチャンスとするためにも、他の地域に先駆けて官民挙げて果敢にチャレンジしていくことが大切、また、地域経済を支える道路、港湾等の社会基盤整備を着実に進めていくことも重要で、特に、リニア中央新幹線については、一日も早い全線開通に向けて積極的に要望活動を行っていきたいとし、令和4年度は「コロナ禍での事業と雇用を守る」そして「ポストコロナを見据えた挑戦」の年、こうした時こそ、時代の変化を先取りし、様々な組織や人が連携し、知識・技術を繋ぎ、世代を繋ぎ次代を担う若者に未来を繋いでいくための礎を構築する必要があると述べました。

総会終了後は、各副会頭もリモート参加し、経済産業省 産業技術環境局 エネルギー・環境イノベーション戦略室長補佐 金子周平氏を講師にテーマ『グリーン成長戦略について』の講演会を開催しました。

